



この小さな穴の先に貝がいる



岩の隙間にいるエガイ

エガイの仲間

大きさ：2cmほど。

干潟の上には、昔、サンゴだった琉球石灰岩の岩が転がっている。このように干潟上にある岩は、多くの生き物の隠れ家にもなっている。岩の下を見ると、カニの仲間がじっとしていたり、無数に開いている穴の中には小さな貝が隠れていたりする。この写真の貝もそのように岩の穴に隠れている、というか穴を利用してそこにくっついている貝である。殻は白色で、黒い毛のような殻皮（かくひ）で被われる。潮間帯～潮下帯の岩礁に住み、殻と殻の間から糸状の足糸（そくし）を出して岩のすき間などに付着している。この貝のような付着性貝類の他に、体から酸を出して岩に穴をあけてすむ穿孔性貝類、広い大洋の表層付近を浮遊しながら生活している浮遊性貝類、他の生き物に寄生する寄生性貝類など、海や干潟にはさまざまな貝の仲間がいる。